



謹啓春宴、新嶋

而起居之血而清穢

車家督平兵衛 陳者 總選

學之能軍全國と概観

段ははる格別の損失も無

之様には是 右様に可憐

人物の概選一二止るを(笑)

懐之正には洋行 九州

長嶋知の豫期之通前豫

負二人の年々高起遊せいの

みあはる市道し玉の新豫負の

へ信家志の三層をへき望

あつた存先の好松平と可中此



一 徳家素心ニ啓るべき望
有るに先好松年とあり
反之福田家先般豫披甲
ニ耳通曰志不折合の爲の二
人の換先と来し然但三取初の
控様言を此と本取遊し四身
あはしおられた存なる間に四
中取遊し此とお取遊したるは
てふしものうと馬年なり此は就
後ノソに於ては換得無之合有
五松果とあり遊しそ一のたり
六遊感千あり馬年なり五松果
何ニ巧ニ遊し義をさるも所
年関清美のほたる聖女殿を
遊を様のりあり義をさるも
千五六百ニ止まらばくたをれは

部を様のしり、家こくを之を
千五六百に止るべくたをれは
山口後古中後に多報を制
まへし存片ふふ意外ふ丑相
の票数二千餘に上り持、佐
賀郡に於て千三百餘のほ票
者之中生のは西家と相正敷す
こりすたるは意好のつる意好
まて教与持のゆを之り元来
の丑相、ふ手台に由教を
保る長き立細之より後
際されたるものこふまははる
人より教地の教を家お友に
意心を念めたるものれ承を衆に
於て意を、丑相の通動者を
取停する、符等、口申等に金
錢と送し、人、配布し、

於て古もかまねの道勅者も
取備ふ事 行考の事等に金
錢と送る人、配布し道
の法事と得たるものに事等と目
部：於て江外諸臣の為め
吾一とて送る人をし勅語せし
の事と勅令とある人多く尙あるに於
ける官更の事勅語むべきもの
不勤

先者所様廻り何なるか

此の事等と恐れ

三月九日

時敏
持具

大隈伯爵閣下

侍者